

中学部段階における

「将来の生活」「働く生活」の学習について考える

—中学部における就労支援内容配列表の見直しに向けて—

伊東久美子 木村有里 富田哲史 富田奈緒子 中村昌宏

野原隆弘 橋都由美子 宮井清香 山内裕史

伊藤友彦 加瀬進 澤隆史（東京学芸大学特別支援科学講座）大峰綾乃（研究協力員）

I はじめに

1. 研究の経過

中学部では過去2年間、作業学習の授業実践を通して中学部作業学習における「3作業班で共通してつきたい力」について提案し、中学部段階で必要と思われる指導について学部教員間で共通理解を図り、本校の就労支援内容配列表の改訂の方向性を探ってきた。

具体的には事例研究、授業研究を通してこれまでの生徒の成長や変化、教員の指導、支援の方法などを踏まえて「3作業班で共通してつきたい力」の妥当性の検証を行った。これらの結果から、中学部作業学習において「3作業班で共通してつきたい力」が授業実践における指針となり、加えて本校の就労支援内容配列表（「働くことに関する意識や技能」）の改訂に向けた資料を得ることができた。

校内実習においては高等部における作業学習の段階性も考慮し、中学部段階で生徒がどのように自己理解し自己評価できるかということについても考えてきた。これらを通して中学部段階での作業学習の指導に関して一定の方針を確認し、現在の授業に反映させている。

2. 今年度の研究について

今年度は就労支援内容配列表における「職業生活の理解と生活設計」の部分に着目した。この項目はさらに「職業生活の知識と理解」「将来の生活と生き方」に分かれている。この項目に関する学習は現在、主に3年生で行っているが具体的には高等部見学や授業体験など目前に迫った進路に関して見通しを持たせるものが中心であり、担当教員によって視点や授業の方法などに違いが見られていた。また、1、2年時においては将来の生活に関する内容よりも社会におけるルールやマナーなど身近な題材を取り上げて学習を行ってきた。中学部では、就労に関する内容は主に作業学習の時間に指導しているが、「職業生活の知識と理解」「将来の生活と生き方」については、今までの学習では不十分ではないかと思われた。

さらに、高等部では、現場実習と合わせてくらし「生活知識」において社会で自立して生活するうえで必要な内容を扱っており、中学部段階において将来の職業や生活について学習を進めることにより、高等部の授業や社会生活に対し見通しを持つことができるのではないかと思われた。

以上のことから「将来の生活」「働く生活」についての学習を検討していく必要があると考えた。本研究において「職業生活の理解と生活設計」の学習について中学部3年間で系統的に学べるような指導形態を作りながら、支援内容配列表の改定につなげていきたいと考える。

Ⅱ 目的

1. 中学部における「職業生活の理解と生活設計」に関する学習について各学年で必要と思われる内容を整理する。
2. アンケート結果と各学年で整理された授業内容を踏まえて、指導計画を検討する。
3. 中学部就労支援内容配列表の「職業生活の理解と生活設計」に関する項目について、改定の方向性を探る。

Ⅲ 方法

1. 中学部生徒の実態

1) 1年生

1年間を通して、新しい環境に慣れることや中学部の年間スケジュールを経験し、教員や友達、他学年の生徒との関係を構築していく時期である。小学生から中学生になったという自覚は見られるものの、言葉遣いなど中学生らしい振る舞いについても学んでいく段階である。あわせて、学級における係活動、家庭でのお手伝いを通して自分の役割を理解することが大切と考えた。さらに生活を広げるために、学校や自宅周辺の公共施設などの学習が必要と思われた。

2) 2年生

1年間の経験から中学部の生活に適応し、学校生活に見通しを持ち自分たちで行動できることが増える時期である。また、1年生の存在を通して先輩としての自覚も生まれてきている。この時期に、生徒の意識を家庭から社会に向けさせたいと考えた。具体的な内容は、自分の進路、社会の中で働くこと、社会で生活していくためのお金の流れ、将来の夢などが挙げられた。

3) 3年生

様々な場面でリーダーとして下級生をまとめたり、全体場で発表する機会が増えてくる。その様な活動を通して最高学年としての意識も徐々に高まってきた。高等部進学という時期でもあり、自分の人生の振り返りや進路選択に関する学習、具体的な面接場面の学習をしてきた。

3年生では、いろいろな仕事や仕事の役割分担について知識や理解を深めるとともに、社会で働くことに興味を持たせることが必要ではないかと考えた。

2. アンケート調査

1) 調査対象者

中学部生徒、1年生から3年生までの生徒20名及び中学部保護者20名全員から回答を得た。生徒についてはアンケート用紙に自分で記入する、あるいは教員が個別にイラストや写真を用いながら説明し、聞き取りを行うなど生徒の実態に応じて実施した。

2) 実施時期

平成25年11月、主に学級の時間に行い、時間が必要な生徒については別途場面を設定して実施した。

3) アンケートの内容

生徒の実態と就労支援内容配列表の「職業生活の理解と生活設計」に関する内容と思われる授業をもとに、中学部教員でアンケート内容について検討し、家庭での役割に関する項目、仕事に関する項目、お金に関する項目、進路に関する項目、余暇に関する項目、公共機関の利用に関する項目の6項目について実施した。

各項目の内容については本校高等部のくらしの生活知識の指導項目や東京学芸大学・みずほ銀行金融教育共同プロジェクトの「くらしやお金についてのアンケート」、長崎大学附属特別支援学校研究紀要第19集(2012)を参考にした。

IV 結果と考察

1. アンケート調査結果(生徒)

1) 家庭での役割

お手伝いについては、これまで中学部において1年時から指導してきた内容であり、20名中18名が何らかのお手伝いをしている事が分かった(図1)。

お手伝いの種類に関しては、家事全般であり、複数のお手伝いをを行っている生徒もいた(表1)。

お手伝いの後の家族とのやり取りでは、おおむね感謝の言葉がかけられており、「お金をもらう」や「テレビを見ていいよ」などの回答が見られた(表2)。

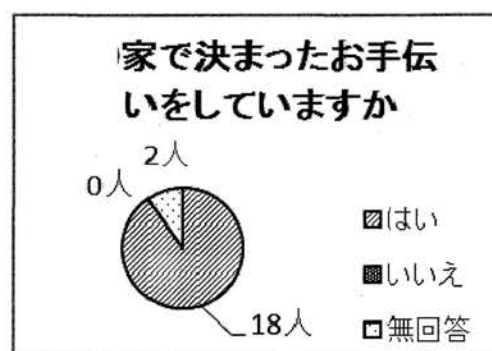


図1 お手伝いについて

表1 お手伝いの種類

どんなお手伝いをしていますか		
1年	2年	3年
洗濯ものをたたむ/米とぎ/風呂掃除/料理/ママのお手伝い	いろいろ/ゴミ捨て/食器洗い/洗濯ものをたたむ/米とぎ/買い物/掃除/配達/風呂掃除/配膳	布団敷き/洗濯ものをたたむ/事としまう事(2)/料理/配膳(2)/テーブル拭き

表2 お手伝い後の言葉

お手伝いをすると、家の人からどんなことを言ってもらえますか		
1年	2年	3年
ありがとう(2)/褒めてくれる/お金をもらう/うん	ありがとう(5)/がんばったね(1)	おつかれさま(2)/TV 見ていいよ/ありがとう/なし

2) 仕事に関する理解

大人になったら働きたいですかの質問については20名中16名が「はい」という回答であり、1名が「いいえ」という回答であった(図2)。

働くともらえる物を知っていますかという労働対価に関する理解については20名中9名が「はい」、7名が「いいえ」、4名が無回答であった(図3)。しかしながら「はい」という回答の中にはお菓子というものも見られた。

現在行っている作業学習に関し自分の好みの作業種について質問したが、1年生に関しては、ほかの作業種を経験しておらず、まだ具体的な内容がわからないので現在の作業種を答える生徒がほとんどであった(図4)。

両親の仕事に関する理解については、主に母親が行っている家事についての回答や休日の父親の様子、わからない等の回答が見られた。また、家事以外の仕事については大まかに理解している程度であり、詳しく聞いてみると具体的には説明できなかった(表3)。

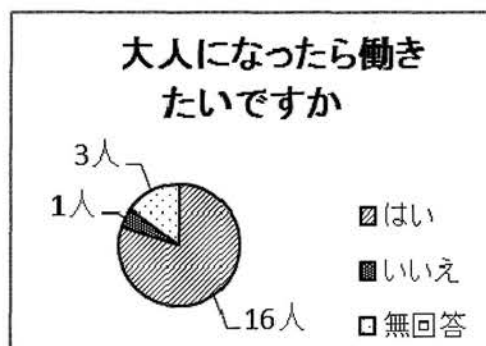


図2 働く意識

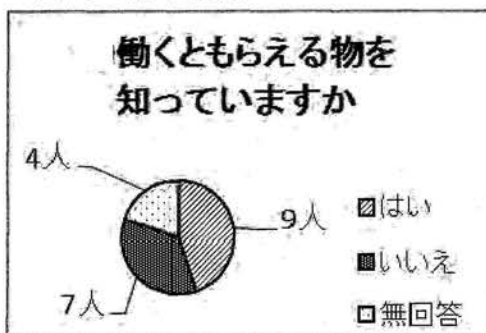


図3 賃金に関する理解

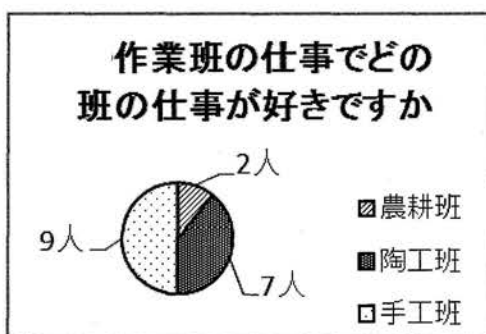


図4 仕事の好み

表3 保護者の職業に関する理解

お父さん、お母さんはどんな仕事をしていますか		
1年	2年	3年
○わからない 1名	○わからない 2名	○わからない 0名
○家事 0名	○家事 0名	○家事 3名
○会社等 6名	○会社等 5名	○会社等 3名

3) お金の流れに関する理解

おこづかいについては20名中11名が何らかの形でもらっていた(図5)。

自分の身の回りの物を買うためには何が必要かの理解については、お金や給料、働くことなどの回答は2、3年生には見られたが1年生には同様の答えは少なかった(表4)。

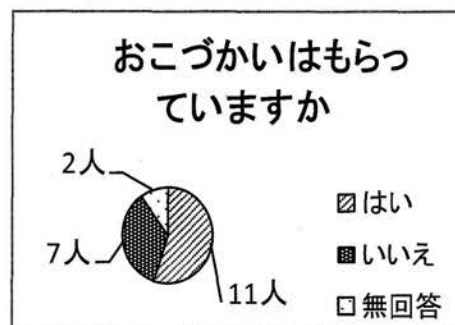


図5 おこづかいについて

実際に自分でお金を使う場面では、趣味に関して使う生徒や身の回りの物を買う生徒が見られた(表5)。

表4 自分の生活の成り立ちに関する理

あなたが、服を買ったり、ご飯を食べたりするには何が必要ですか		
1年	2年	3年
わからない/お金/お箸(2) 洋服/パジャマ	わからない/お金(3)/おさ いふ(2)/たくさん働くこと	わからない(3)/お金(3)

表5 おこづかいの使い道

おこづかいで何を買いますか		
1年	2年	3年
わからない/貯金(貯金箱)/ パン、牛乳/弟のおもちゃ/服/ かいもの(2)	いろいろ/コミック、文房具、 雑誌/キャラクターグッズ (2)/おもちゃ/洋服	ゲームセンター/おかし(2)

4) 進路について

進路に関して、高等部進学と就職に関する質問を行った。中学部卒業後の高等部進学については、20名中12名が「はい」と回答し、中学部卒業後に働きたいという生徒は20名中6名であった(図6、7)。また、将来やってみたい仕事については、自分の趣味や学校で習ったことや現在取り組んでいるお手伝いなど挙げる生徒がほとんどであった(表6)。

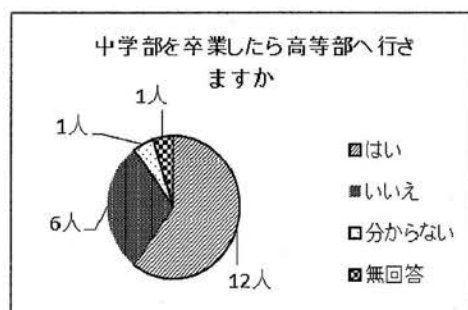


図6 進路について①

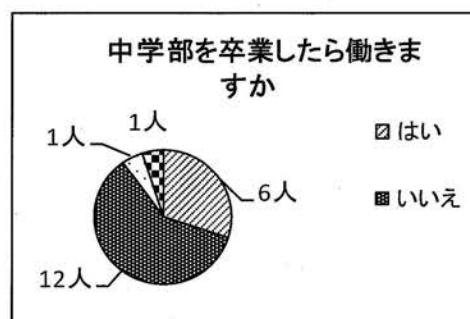


図7 進路について②

表6 将来やってみたい仕事

自分のやってみたい仕事は何ですか		
1年	2年	3年
ない/パソコン会社/思いつ かない/わからない(2)/ 掃除/料理	テレビ/手芸/アニメ企業と 企画所/ピアノ/寿司屋/ま んが家/洋服屋	洗濯/英語/わからない(2) /自分の得意な仕事/陶工

5) 余暇について

休日の外出についても20名中16人が外出している事が分かった(図8)。

休日に家庭で遊ぶものについては、どの生徒についてもそれぞれ楽しんでいることについて回答が見られた(表7、8)。

また、具体的な外出先は、家族との買い物やレジャーなどが中心であるが、自分の趣味に関する外出も見られてきている(表9)。

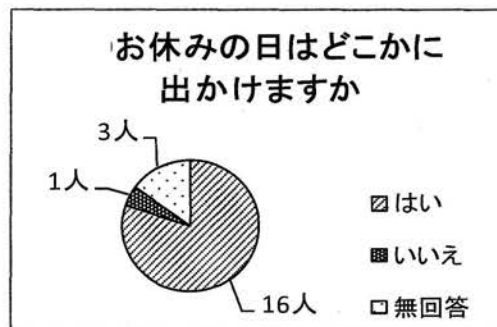


図8 休日の過ごし方

表7 好みの遊びについて

どんな遊びが好きですか		
1年	2年	3年
ボール/おにごっこ、スポーツ(野球・バスケ)/なわとび、将棋・ピアノ/サッカー、ランプ、オセロ	わからない/絵、本読み、パソコン/DVD、絵、ゲーム/プール、ピアノ/ダンス/ゲームやパソコン/なわとび	電車/スポーツ/なわとび/ゲーム

表8 家庭での遊びについて

家では何をして遊びますか		
1年	2年	3年
わからない/TV ゲーム/音楽を聴く/オセロ、弟と一緒にたたかい/ピアノ、マラソン/何もない	わからない/パソコン(3)/絵(2)/本/DVD/鬼ごっこ/ゲーム(3)/テレビ	テレビ(2)/WiiU(テレビゲーム)/キーボード

表9 外出について

どこに遊びに行きますか		
1年	2年	3年
公園/スーパー/コストコ、栃木県/昭和記念公園/時計屋/洋服屋	おばあちゃんの家、ショッピング、図書館/東京タワー、渋谷、六本木/ディズニーランド/京都/ワールドホビーフェア	ドライブ/買い物、映画、ワンピースのお店(アニメ)/ショッピングセンター/マクドナルド、カラオケ

6) 公共機関の利用について

公共機関の利用については20名中11名が図書館等の利用をしている事が分かった。7名が利用しておらず、2名は無回答であった(図9)。1年生はほとんど利用したことがなく、学年が上がるにしたがって利用している生徒が多く見られた。

2. アンケート調査結果(保護者)

1) 家庭での役割

家庭でのお手伝いについては20名中17名が何らかのお手伝いをさせている事が分かった。3名の家庭では決まったお手伝いはさせていなかった。ほぼ生徒のアンケートと同様の結果となった(図10)。

2) 子供の希望職種の理解

お子さんがどんな仕事をしたいか知っていますかの問いに関しては20名中10名が知っている、9名が知らない、1名が無回答という結果となった。中学部の保護者の約半数が、子供のやってみたい仕事についてあまり理解をしていないという結果となった(図11)。

3) おこづかいについて

おこづかいを何らかの形で子供に渡している家庭は20名中12名であった。8名についてはおこづかいを渡していなかった(図12)。具体的には、必要な時、あるいはお手伝いをしたときなどが挙げられている。金額は、下記のとおりである(表10)。

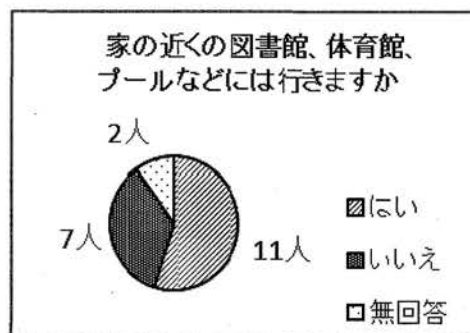


図9 公共機関の利用について

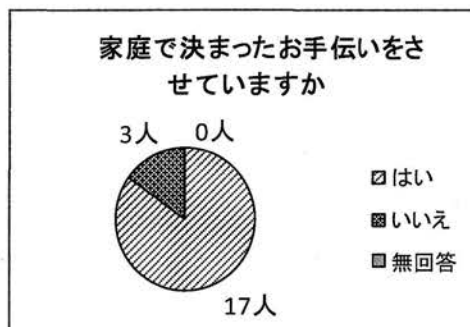


図10 家庭でのお手伝いについて

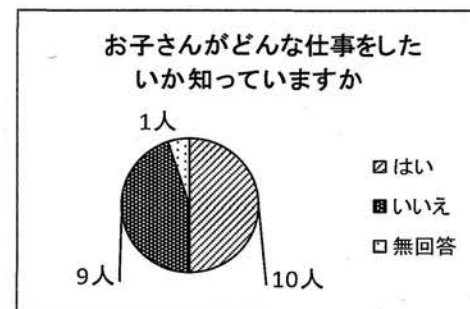


図11 子供の希望職種の理解

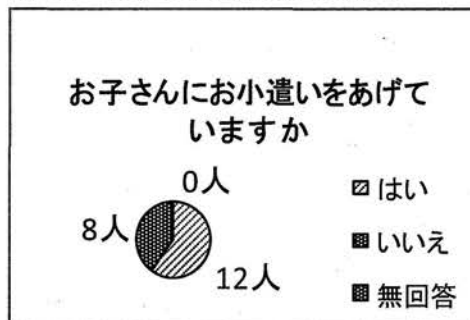


図12 おこづかいについて

表10 おこづかいの金額

いくらあげていますか		
1年	2年	3年
○その時必要な額	○1000 円/月	○1500 円/月
○300 円前後/必要な時	○100~500 円/必要な時	○1000 円/月(2)
	○10~100 円/お手伝いした時	○500 円/必要な時
		○150 円/必要な時(2)

4) 進路について

高等部の授業や行事に関する理解の質問に対しては20名中13名が理解しており、中でも3年生は全員が理解しているという回答であった(図13)。

将来の仕事について話をしたことがありますかという質問に関しては20名中12名がしているという回答であり、8名はしていないという回答であった。約半数が将来の仕事について話をしているという結果となった(図14)。

具体的にどんな職業についてほしいかという質問に対しては、1年生は「わからない」「考え中」などの回答が目立ち、まだ具体的に見通しが持てない様子がうかがえる。2年生は生徒の趣味や好きなことに関する仕事についてほしいという回答が見られた。3年生は「本人が集中できるもの」「本人が長く就労できる仕事」「本人が少しでも楽しんで取り組める職業」「単純作業など本人にとって分かりやすい仕事」というように生徒の特長に合わせた職業を希望するなど各学年でそれぞれの傾向が見られた(表11)。

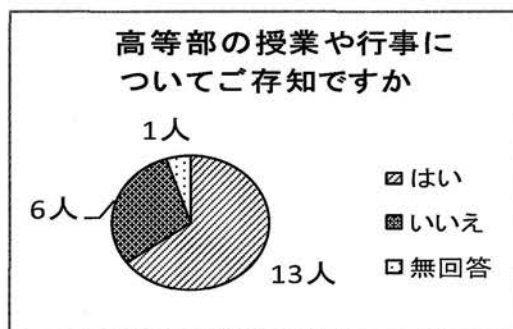


図13 進路について

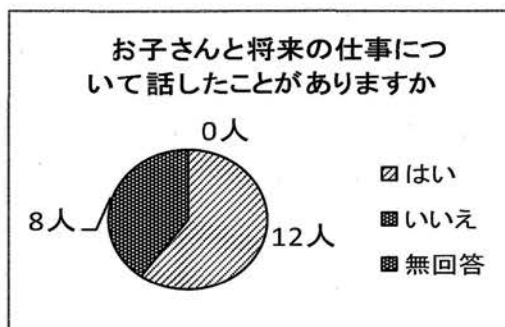


図14 子供の将来の仕事について

表11 将来の仕事への希望

お子さんをどんな職業に就かせたいと思いますか		
1年	2年	3年
○考え中 ○人と関わる仕事(2) ○わからない(3)	○食品製造の作業所 ○人との関わる仕事 ○手工芸 ○コンピューターを使ってデザインの仕事 ○わからない ○本人次第	○集中して取り組める仕事 ○長く就労できる様な職業・サービス業(人と接する仕事) ○少しでも楽しんで取り組める職業 ○単純作業をくり返すなど分かりやすい仕事

5) 余暇について

生徒の好きな余暇の過ごし方や趣味などについて生徒の回答と同様の傾向が見られた（表12）。

表12 子供の趣味の理解

お子さんの好きなこと〔趣味〕は何ですか		
1年	2年	3年
音楽鑑賞、踊り/野球、パソコン/音楽鑑賞、ダンス/外遊び（プレイボード、自転車、縄跳びなど）、将棋、オセロ、絵/ピアノ、漢字、折り紙/紙を細かく切る事、DVD やパソコンで YouTube を見る事/テレビ鑑賞、オセロゲーム、読書	ピアノ/絵、DVD を観る/絵、パソコン（2）/ゲーム、DVD 鑑賞しながら歌って踊ること/絵、図工、映画鑑賞、ゲーム/ダンス、アメリカのドラマや映画鑑賞、音楽鑑賞	音楽鑑賞、電車を見る、乗ること/DVD 鑑賞、ゲーム、本を見る（図鑑など）/音楽鑑賞、踊ること/テレビ、カラオケ、お菓子作り/乗馬、i pad やデジカメで画像を見る、パズル、音楽鑑賞、サイクリング、マラソン/音楽鑑賞、ダンス

6) 公共機関の利用について

公共機関の利用については、20名中11名が利用しており、7名は利用していない、2名は無回答という結果であった。2、3年生は利用頻度が高く1年生は低いという傾向が見られた（図15）。

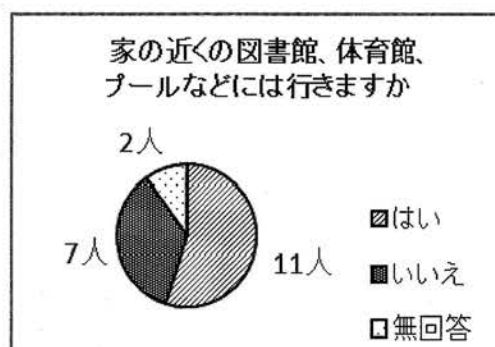


図15 公共機関の利用

7) 暮らしの授業への要望

暮らしの「将来の生活」に関する授業への要望については、職業に関する内容よりも、自立に向けた身の回りの処理に関することや適切に社会資源を活用できる内容に関する事などの要望が多く見られた（表13）。

表13 暮らしの授業への要望

将来の生活について学校で教えてほしい内容がありますか、自由にお書きください		
1年	2年	3年
○お金について ○携帯電話 ○パソコン（インターネット）の使い方 ○生活するためのスキル ○職業訓練の様な内容 ○集団生活について	○身辺処理やマナー ○進路、ライフスタイル ○趣味について ○緊急時の対応の仕方 ○電話の受け答え ○マナー、エチケット、思いやりの大切さ	○調理、被服、お金のこと ○将来の生活（大人になる事、仕事をする事）に見通しをつけられるような内容 ○金銭感覚 ○日常生活で利用する場所でのマナー

3. 考察

1) 指導内容の視点

(1) 家庭での役割

それぞれの学年で保護者・生徒ともにお手伝いに対する意識は高い。中学部では、1年時から授業等を通して家庭での役割を持たせることを指導していることが理由ではないかと思われる。また家族からはお手伝いを通して、肯定的な評価をしてもらっていることを生徒が実感していることもわかった。これまでの学校での取り組みについて理解されていることが伺え、今後も引き続き取り組んでいくことが大切と考えられた。

(2) 仕事の理解

ほとんどの生徒は、将来の仕事について、作業班で行っている内容の仕事、あるいは自分の趣味や家事に関することなどを回答した。また、家族の職業の理解については家事と回答したり、回答できても具体的には説明できなかったりと理解も乏しいと思われる結果となった。これは、仕事に対する生徒の知識が不足しているため、いろいろな仕事をしている人に接していても、それが仕事と気づくことができないためであると思われる。今後の授業に関しては、社会には様々な職業があることや1つの職種の中に色々な働き方、役割があることについて理解を促す内容が必要であり、保護者に対しても、子供の将来について考える機会を促していく必要があると考えられた。あわせて校内実習を通して、労働と給料についても考える機会をさらに設定していく必要があると思われた。

(3) お金の流れ

働いてもらえるものはお金であると理解している生徒は予想より少なく、約半数であった。また、生活のためにお金が必要であると明確に答えられる生徒も全体の約半数にとどまった。

今後の課題は、自分の生活がお金で成り立っていることや収入を得る、消費するなどお金の流れについて生徒の実態に合った指導を検討していく必要があると思われた。

(4) 進路

中3は高等部について、進路に関する授業や高等部見学を通して具体的なイメージはもっているが、1、2年生は高等部についての見通しはまだ十分にもっていない状況である。

一方、保護者については、学年が進むにつれて高等部の内容についての理解が進んでいたが、働くことへのイメージはあまり持っていないことが伺えた。

高等部進学とその後の働く生活について理解を促す指導を通して、将来の生活について考えていく指導を1年時から行う必要があると考えられた。保護者に対しても進路や就労に対する意識付けを行う必要性を感じた。

(5) 余暇

余暇については家族で外出する、習い事や映画、ゲーム、家で過ごすなどが挙げられていた。生徒と保護者の回答はほぼ同様の内容であった。

余暇の内容については、趣味の時間や校外学習を通して、生徒の興味関心の幅を広げていく必要があると考えられた。

(6) 公共機関の利用

1年生はほとんど利用していなかったが、2・3年生については公共機関の利用頻度が

上がっていた。総合学習での経験や保護者との連携で、学年が上がるにつれて公共機関を利用している生徒が増えていると思われる。引き続き1年時から、地域の身近な施設について学ぶことが必要であると思われた。

2) 指導内容案

アンケートの結果から、生徒、保護者の理解の現状やこれまでの指導に関する評価について明らかになった。その結果を考慮して下記に示す「将来の生活」「将来の仕事」に関する指導内容案を作成した(表14、15、16)。内容については、学年ごとに考えているが、生徒の状況により学年を超え指導していく必要や、指導の時期、既存の内容との関係性やバランスを考えて、決定していくことが必要である。

(1) 1年生

家庭の仕事を知り、お手伝いを通して家庭での役割を果たすことで、将来の働く生活のベースを培うように内容を考えた。また、家族や学校の身近な仕事から働くことについての内容を取り上げる。

(2) 2年生

生徒の意識を家庭や身近な学校から広く社会に向け、いろいろな職業について学習し、将来への夢を考えられるようにした。また、生活とお金についての学習も行う。

(3) 3年生

先輩が働いている職場を見たり、高等部の学習を見学したりして、進路選択と進学準備の指導内容を考えた。また、仕事の役割分担とお金の流れについて学習し、働くことに関心を持たせることを取り上げる。

表 14 指導内容案 (1年生)

題材名	目標
中学生のわたし	小学校を卒業して中学部に入学した自分を振り返り、1年間の見通しをもつ。
家庭の仕事について	家庭での役割としてのお手伝いの意味を知る。
家族の仕事(職業)について	自分や友達の家族の職業を知る。
学校の中の仕事	学校の中で働いている人の仕事を知る。
地域を知ろう	自分の地域や学校周辺の公共機関について理解を深める。
わたしの貯金箱	冬休み中のお手伝いを発表し、クラスの友達の様子をお互いに共有して、お手伝いに対する意欲を高める。
1年間を振り返ろう	1年の生活の振り返りと次年度の見通しを持つ。

表 15 指導内容案（2年生）

題材名	目標
リアル人生ゲーム (生い立ち編)	自分や友達のこれまでの生い立ちを知り、確認する。
いろいろな職業を知ろう①	社会のいろいろな職業について知る。
いろいろな職業を知ろう②	自分や友達の家族の職業を知る。
わたしの夢①	自分が将来つきたい仕事を考える。
わたしの夢②	自分がつきたい職業に関係する職種を知る。
マネーゲーム	自分の生活の中で、お金の流れがどのようになっているかを知り、理解を深める。
社会人になるとは	お金の流れを通して仕事と余暇について知る。
リアル人生ゲーム (高校、就職編)	中学部卒業や高等部入学、就労についての見通しを持つ

表 16 指導内容案（3年生）

題材名	目標
振り返ろう！0～15歳までの自分①②	中学部卒業段階までの自分や友達の生い立ちを知る。
考えよう！これからの自分①②	これからの人生について大まかに理解し、進学や就職について考える。
職場見学	働くことについて具体的に理解する。
高等部見学①②【選択、通常授業、作業学習、校内実習】	高等部の学習を知る。
面接の受け方①②③	あらたまった場面での適切な態度を理解する
マネーゲーム	自分の生活がどのようにして成り立っているかを知り、理解を深める。
働くことについて考えよう	仕事には色々な職種や働き方があることを理解する。
中学部の生活を振り返ろう	中学部の生活を振り返り、高等部の生活を中心に今後の生活への期待を持つ。

4. まとめと今後の課題

就労支援内容配列表における「将来の生活」「働く生活」に関する授業について、これまで各教員が生徒の状況に応じて指導を行ってきた。そのため、中学部全体としての明確な方針が不足していた面があった。

今回のアンケートを通して生徒や保護者の理解の現状や、指導に関する評価、生徒、保護者のニーズを把握することができ、授業内容や指導計画等の改善の方向性を確認することができた。

次年度は既存のくらしの指導計画と照らし合わせるとともに、年間行事や指導のタイミングも考慮しながら、今回の指導内容案を検討しながら授業を行う。そして授業内容及び指導計画について検証するとともにそこで蓄積した指導案や教材を整理してまとめ、さらに研究を深めたいと考える。また、今回実施したアンケートを修正して実施し、生徒や保護者の理解度や指導の評価を行ったうえで、就労支援内容配列表の改定について提案する資料を作成したいと考える。

〈引用・参考文献〉

- 東京学芸大学附属特別支援学校（1997）研究紀要 No. 42
- 全国特別支援学校知的障害教育校長会編著（2010）特別支援教育のためのキャリア教育の手引き
- 菊池一文（2011）知的障害教育におけるキャリア教育の在り方に関する研究 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 研究紀要第 38 巻
- 東京学芸大学附属特別支援学校（2011）研究紀要 No. 56
- 茨城大学教育学部附属特別支援学校（2011）研究集録 第 32 集
- 愛媛大学附属特別支援学校著（2011）将来の働く生活を実現する教育
- 東京学芸大学附属特別支援学校（2012）研究紀要 No. 57
- 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所編著（2012）特別支援教育充実のためのキャリア教育ガイドブック
- 長崎大学付属特別支援学校（2012）研究紀要第 19 集

(くらしの授業に関する生徒へのアンケート調査)

対象	アンケート内容
中学部生徒	① 学校の 準備は 一人でできますか
	② 家で 決まった おてつだいを していますか (はい・いいえ)
	③ どんな おてつだいを していますか ()
	④ おてつだいをすると 家の人から どんなことを いってもらえますか ()
	⑤ お父さん、お母さんはどんな仕事をしていますか ()
	⑥ 大人になったら働きたいですか、 (はい・いいえ)
	⑦ はたらくと もらえる物を 知っていますか (はい・いいえ)
	⑧ あなたが 服を買ったり、ご飯を 食べたり できるのは なぜですか ()
	⑨ おこづかいは もらっていますか (はい・いいえ)
	⑩ おこづかいで 何を買いますか
	⑪ 作業班の 仕事で どの班の工作在が 好きですか (農耕・手工・陶工)
	⑫ 中学部を 卒業したら 高等部へ行きますか (はい・いいえ)
	⑬ 中学部を 卒業したら 働きますか (はい・いいえ)
	⑭ 自分の やってみたい 仕事は何ですか ()
	⑮ どんな 遊びが 好きですか ()
	⑯ 家では 何を して遊びますか ()
	⑰お休みの日に どこかに 出かけますか (はい・いいえ)
	⑱ どこに 遊びに 行きますか ()
	⑲ 家の近くの 図書館、体育館、プールなどには行きますか (はい・いいえ)

(くらしの授業に関する保護者へのアンケート調査)

対象	アンケート内容
中学部保護者	<p>① お子さんは、学校の準備を一人でしていますか (はい・いいえ)</p> <p>② 家庭で決まったお手伝いさせていますか (はい・いいえ)</p> <p>③ どんなお手伝いをさせていますか ()</p> <p>④ 手伝いをしてくれた後、お子さんにどのような声をかけていますか ()</p> <p>⑤ 子さんにおこづかいをあげていますか</p> <p>⑥ いつあげていますか ・決まっている(月に1度・週に1度・その他) ・必要なとき</p> <p>⑦ いくらあげていますか</p> <p>⑧ おこづかいは何に使っていますか (文具・飲食・本・雑誌・ゲーム・レンタル その他)</p> <p>⑨ 高等部の授業や行事についてご存知ですか (はい・いいえ)</p> <p>⑩ お子さんと将来の仕事について話したことがありますか (はい・いいえ)</p> <p>⑪ お子さんがどんな仕事をしたいか知っていますか (はい・いいえ)</p> <p>⑫ 中学部作業班でお子さんに合っていると思われる作業班はどれですか (農耕・手工・陶工)</p> <p>⑬ お子さんの得意なことは何ですか ()</p> <p>⑭ お子さんの苦手なことは何ですか ()</p> <p>⑮ お子さんをどんな職業に就かせたいですか ()</p> <p>⑰ お子さんの好きなこと(趣味)は何ですか ()</p> <p>⑱ お子さんが休日に楽しんでいることはありますか ()</p> <p>⑲ 将来の生活について学校で教えてほしい内容がありますか、自由にお書きください</p>

くらし「生活知識」学習指導案

日 時 平成 26 年 1 月 24 日 (金) 10 : 10 ~ 11 : 00

対 象 中学部 3 年 6 名

場 所 中 3 教室

指導者 山内裕史(MT)橋都由美子(ST1)伊東久美子(ST2)

1. 題材名「働くことについて考えよう」

1) 中学部のくらしについて

中学部における「くらし」は、「家庭生活に必要な食物、被服、住まいなどに関する基本的な知識と技能を身につけるとともに、地域で生活するために基本的な知識(健康・安全・性・金銭など)を知り、進んで家庭や地域生活での生活に参加できるようになる。」というねらいのもと、生活の技能獲得を重視した授業「くらし(技能)」と生活の知識獲得を重視した「くらし(生活知識)」といった2つの授業を設定している。

2) 題材設定の理由

中学部3年生は、男子4名、女子2名の計6名で構成されている。目上の人に対して敬語を使える生徒からサインなどで意思を相手に伝える生徒までコミュニケーションと日常生活スキルの幅は広い。明るく温かい関係ができており、友だちを理解したり励ましたりすることができる学級である。将来の生活や職業生活に関するアンケート(聞き取りも含む)では、全員が中学部を卒業したら高等部に行くとは回答し、目前に迫った進路についての意識が高まり、高等部で生活を楽しみにしてる生徒がほとんどである。一方、大人になったら働きたいですかの問いには67パーセントの生徒のみ「はい」と答え、働くことへの関心を持たせる必要性を感じる。

3年生では、「くらし(生活知識)」の中で就労支援内容配列表における「職業生活の知識と理解」「将来の生活と生き方」に関わる内容として、近隣の作業所見学、ライフサイクルの勉強、本校高等部見学や授業体験、高等部入試に対する態度や面接のマナー等、進路に関する学習を積み重ねてきた。本校高等部への内部進学が決まり、まもなく卒業という節目を迎えるにあたり、これまでの自分の人生を振り返りこれからの人生を考える学習や自分の進路選択に関する学習、職業生活に関する学習は非常に大切である。

生徒は、作業学習(校内実習)を通して物を作ったり育てるなどの目的的な活動が働くことに繋がることを学んでおり、販売会でそれらが商品になり、販売することで代金を受け取ることを経験した。本時は、販売会で一部の生徒のみ経験した喫茶の仕事を他の生徒も体験し「ひとつのお店にもいろいろな役割分担がある」ことについて学習する。また、他の飲食業についても役割分担について考え、働くことの理解を深めたい。さらに、高等部の現場実習の様子から、飲食業以外にも色々な仕事があることを学習し、現場実習でやってみたい仕事を考える。本校高等部への内部進学が決まり意識が高まっている今、働くことについて理解を深め、働くことに関心を持たせたいと考え、本題材を設定した。

2. 目標

- 1) 働くことに関心をもつ。
- 2) いろいろな仕事の仕方を知る。

3. 指導計画

日時	指導内容
6 / 1 8 (月)	先輩が働く様子を見に行こう。ー喫茶すぎのこに行ってみようー
1 2 / 9 (月)	働くことについて考えよう①
1 / 2 4 (金) 本時	働くことについて考えよう②

4. 本時の学習

1) 本時の目標

- 高等部の働く勉強に期待をもつ。
- 飲食業にはいろいろな役割があることに気づく。

2) 準備物：PC、TV、ipad2、机×4、レジスター、軽量カップ、紅茶、マドラー、カップ、WS、テーブルクロス、

3) 生徒の実態及び個人目標・手だて

生徒氏名	実態・分担	個人目標	指導の手立て	関連する個別教育計画
A 女子 中3	・高校生活への大まかなイメージをもち、先輩達と活動することを楽しみにしている。 働くことには消極的である。 ・校内実習でレジを経験し、仕事にはいろいろな役割があることに気づきつつある。	★ <u>現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。</u> ☆飲食業にはいろいろな役割があることに気づく。	● <u>質問し、理由も考えさせる。</u> ○みんなで行ったお店の名前をあげ、問いかける。	高校生活への見通しと期待をもつ。
B 女子 中3	・高校生活への大まかなイメージをもち、先輩達と活動することを楽しみにしている。 ・働く人のことをよく見ている。仕事にはいろいろな役割があることに気づきつつある。	★ <u>現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。</u> ☆飲食業にはいろいろな役割があることに気づく。	● <u>質問し、理由も考えさせる。</u> ○みんなで行ったお店の名前をあげ、問いかける。	高校生活への見通しと期待をもつ。
C 男子 中3	・「高校生になる」ことを絵カードで意思表示した。高校生活へのイメージは少ない。 ・経験したことのある作業は理解できる。見通しのもてる作業は得意である。	☆いくつかの選択肢から仕事を選ぶ。 ☆喫茶店の仕事を体験する。	○ipad2を用いる。 ○手順表を用意する。指さし等で支援する。	
D 男子 中3	・「高校生になる」ことを理解し、行事等で高校生が行う仕事に憧れをもっている。 ・校内実習でホール係りを経験した。喫茶店にはいろいろ	★ <u>現場実習でやってみたい仕事を発表する。</u> ☆体験を通して、喫茶店にはいろいろな役	● <u>写真を呈示する。メモを書く等、発表しやすいよう支援する。</u> ○喫茶での役割について問いかけ、気づきを促	高校生活で頑張りたいことが言える。

	な役割があることに気づきつつある。	割があることを知る。	す。写真を呈示する。	
E 男子 中3	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活に憧れをもっている。先輩達と活動することを楽しみにしている。 ・働く人のことをよく見ている。仕事にはいろいろな役割があることに気づきつつある。 	<p>★<u>現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。</u></p> <p>☆飲食業にはいろいろな役割があることに気づく。</p>	<p>●<u>質問し、理由も考えさせる。</u></p> <p>○みんなで行ったお店の名前をあげ、問いかける。</p>	高校生活への見通しと期待をもつ。
F 男子 中3	<ul style="list-style-type: none"> ・「高校生になる」ことを理解している。先輩達と活動することを楽しみにしている。 ・作業をすることは得意だが、いろいろな役割があることは、気づいていない。 	<p>★<u>現場実習でやってみたい仕事を発表する。</u></p> <p>☆体験を通して、喫茶店にはいろいろな役割があることを知る。</p>	<p>●<u>写真を呈示する。メモを書く等、発表しやすいよう支援する。</u></p> <p>○喫茶での役割について問いかけ、気づきを促す。写真を呈示する。</p>	高校生活で頑張りたいことが言える。

4) 本時の展開

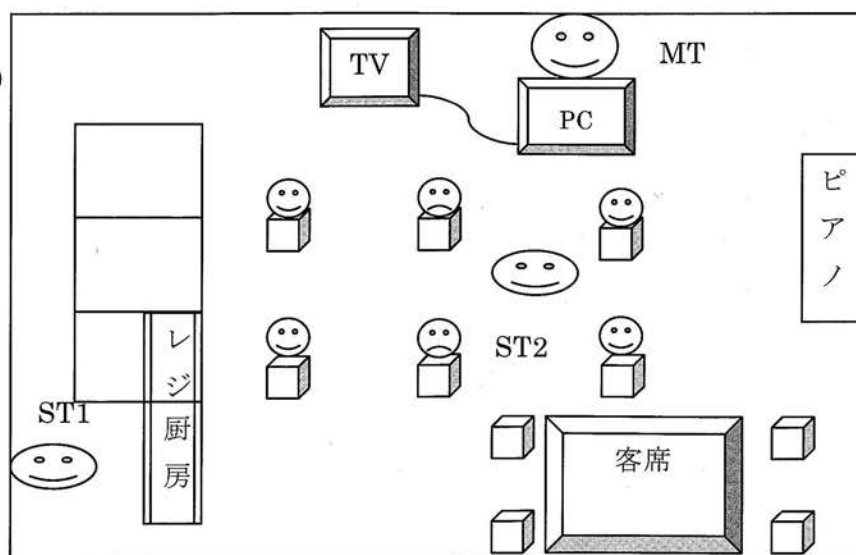
時間	学習活動	指導内容	指導上の留意点	個人の目標	手立て
10:10	<p>○始まりの挨拶をする。</p> <p>○本時の学習の説明を聞く。</p> <p>○製品を作ったこと、販売したこと、接客したことを思い出し、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の始まりを意識する。 ・学習活動の見通しをもつ。 ・校内実習、販売会について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正す。 ・内容を視覚的に提示する。 ・生徒の発言に合わせてPCで写真を呈示する。 		
10:15	○喫茶「フラワー」で「作る(厨房)」、「レジ(販売)」、「運ぶ(ホール)」という役割を体験する。	・ひとつのお店(喫茶店)でもいろいろな役割があることを知る。	・ST1は喫茶の補助、ST2は生徒支援をする。生徒は接客と客を順番で行う。	<p>☆【C】喫茶店の仕事を体験する。</p> <p>☆【D,F】体験を通して、喫茶店にはいろいろな役割があることを知る。</p>	<p>○【C】手順表を用意し、指さし等で支援する。</p> <p>○【D,F】喫茶での役割について問いかける。写真を呈示する。</p>
10:30	○飲食業の役割について発表する。	・打ち上げ遠足のレストラン等の様子を振り返る。		<p>☆【A,B,E】飲食業にはいろいろな役割があることに気づく。</p>	○【A,B,E】みんなで行ったお店の名前をあげ、問いかける。

10:35	○他にどんな仕事があるか発表する。	・他の仕事にもいろいろな役割があることを知る。	・打ち上げ遠足等の写真を呈示し、視覚的に理解を促す。 ・西武鉄道の例から考えさせる。		
10:40	○高校生の実習中の写真を見る。 ○現場実習でやってみたい仕事を発表する。	・実習でいろいろな仕事をしていることを知る。 ・現場実習でやってみたい仕事を考え、期待をもつ。	・具体物や写真を用い、仕事の様子がわかるようにする。 ・個別に質問する。考えがまとまるよう支援する。	★【A, B, E】現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。 ☆【C】いくつかの選択肢から仕事を選ぶ。 ★【D, F】現場実習でやってみたい仕事を発表する。	●【A, B, E】質問し、理由も考えさせる。 ○【C】ipad2を用いる。 ●【D, F】写真を呈示する。メモを書く等、発表しやすいよう支援する。
11:50	○WS に記入する。	・いろいろな役割があることや、高等部への期待をまとめる。	・PC で WS を呈示する。 C への書字支援をする。		
11:00	○終わりの挨拶をする。	・学習の終わりを意識する。	・姿勢を正す。		

5. 備考

配置図

(中 3 教室)



5. 評価

1) 個人目標の評価

児童	個人目標（個別教育計画に関するもの）	評価	コメント
A	★現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。 ☆飲食業にはいろいろな役割があることに気づく。	○ ○	喫茶店以外の飲食業についても、同じように役割があることに気づくことができた。
B	★現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。 ☆飲食業にはいろいろな役割があることに気づく。	○ ○	
C	☆いくつかの選択肢から仕事を選ぶ。 ☆喫茶店の仕事を体験する。	○ ○	
D	★現場実習でやってみたい仕事を発表する。 ☆体験を通して、喫茶店にはいろいろな役割があることを知る。	○ ○	
E	★現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。 ☆飲食業にはいろいろな役割があることに気づく。	○ ○	
F	★現場実習でやってみたい仕事を発表する。 ☆体験を通して、喫茶店にはいろいろな役割があることを知る。	○ ○	

2) 授業の評価

	評価内容	評価及びコメント・次時への課題		
		6/18	12/9	1/24
目標	本時の目標は達成できたか	○	△	○
	本時の目標は適切であったか	○	○	○
活動	本時の目標にあった学習活動であったか	○	○	○
手 だ て	教材は適切であったか	○	○	△
	教材の提示方法は適切であったか	○	○	△
	教材の使い方は適切であったか	○	○	△
	子どもへの援助方法は適切であったか	○	△	○
	集団の統制は適切であったか	○	○	○
	子どもの反応の捉え方は適切であったか	○	○	○
T T	教員間の役割分担とその連携は適切であったか	○	△	○
学習 環境	本時の時間配分は適切であったか	○	○	△
	場面の設定は適切であったか	○	△	○

3) 個別教育計画運用の評価

個別教育計画との関連事項								
生徒	個別教育計画からの目標	個人目標達成評価		場面の適切評価		手だての適切評価		個別教育計画への課題
A	★ <u>現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。</u>	○		○		○		現場実習で求められる態度について考える。 実習以外にも楽しみな活動を見つける。
B	★ <u>現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。</u>	○		○		○		現場実習で求められる態度について考える。 楽しみな活動を見つけ、不安感を少なくする。
C								
D	★ <u>現場実習でやってみたい仕事を発表する。</u>	○		○		○		現場実習の目標（時間を守る等）を考える。 実習以外で頑張りたい活動を見つける。
E	★ <u>現場実習でやってみたい仕事と理由を発表する。</u>	○		○		○		現場実習の目標を考える。
F	★ <u>現場実習でやってみたい仕事を発表する。</u>	○		○		○	手元に写真を呈示した	現場実習の目標（報告する等）を考える。

〔評価の目的〕・個別教育計画からの目標と達成度、目標に対する手だて・場面指導が適切であったかを評価する。

・個別教育計画を見直す資料とする。評価基準は、○△×の3段階で行い、コメントがあれば加える。

4) 指導計画の評価

題材名：働くことについて考えよう		
総時間数：3回 授業日：H25 6月18日、12月9日、H26 1月24日		
授業形態に関して	指導内容に関して	時間数に関して
作業所を見学することで働くことに関するイメージを膨らませることができた。喫茶の仕事・役割分担は、体験する活動を繰り返し行うことで、理解を促すことができた。	理解することが難しい内容も含まれていた。先輩の様子を見ることによって、生徒の期待感が増し、自発的に「働くこと」について発言したり、考えたりするようになった。	第一時：6月（進路を考える）、 第二時：12月（校内実習後）、 第三時：1月（卒業目前）、 進路選択や働く学習と合わせて授業を行うことができた。

〔評価の目的〕・単元、題材ごとの指導計画を評価し、教育課程の見直しの資料とする。評価項目ごとにコメントを記入する。

くらし／生活知識

はたら

働くことについてかんがえよう！

月 日 曜日 氏名

1. 喫茶「フラワー」には ^{きっさ}どんな ^{やくわり}役割が ありましたか。

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

つくる

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

れじ

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

はこぶ



ひとつのおみせに

やくわり

がある。

2. 高等部で ^{こうとうぶ}がんばることは なんですか。

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

クッキー

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

おはし

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

ぱそこん

3. きょうの ^{じゅぎょう}授業の かんそう。



たのしかった



がんばった



おずかしかった